

2022年8月5日

株式会社三菱UFJ銀行

川崎市が発行するグリーンボンドへの投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下 当行）は、本日、川崎市が発行する「第2回川崎市グリーンボンド10年公募公債」（以下 本債券）への投資を決定いたしました。

本債券は、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券です。本債券の発行により調達された資金は、川崎市が取り組む、2050年の二酸化炭素（CO₂）排出量実質ゼロの達成（緩和）と気候変動に起因した自然災害による被害の回避・軽減（適応）に向けた、下表の環境施策に充当されます。

【環境施策】

分類	事業内容
汚染防止および管理 エネルギー効率	橋処理センター整備事業
グリーンビルディング	本庁舎等建替事業
エネルギー効率	環境配慮技術導入事業
気候変動への対応 持続可能な水資源および廃水管理	五反田川放水路整備事業

なお、本債券は、株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際資本市場協会（International Capital Market Association/ICMA）が定義する「グリーンボンド原則 2021^[1]」および環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン 2020年度版^[2]」に適合していると認められており、最上位評価である「Green 1」の評価を取得しております。

当行は、本債券への投資を通じ、今後も環境事業の促進を図ると同時に、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

【本債券の概要】

銘柄	第2回川崎市グリーンボンド10年公募公債
年限	10年
発行額	100億円
発行日	2022年8月17日

[1] 国際資本市場協会（ICMA）が定義する「グリーンボンド原則 2021」（英文）は以下をご参照ください。

<https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/green-bond-principles-gbp/>

[2] 環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン 2020年度版」は以下をご参照ください。

<https://www.env.go.jp/press/107803.html>

以上